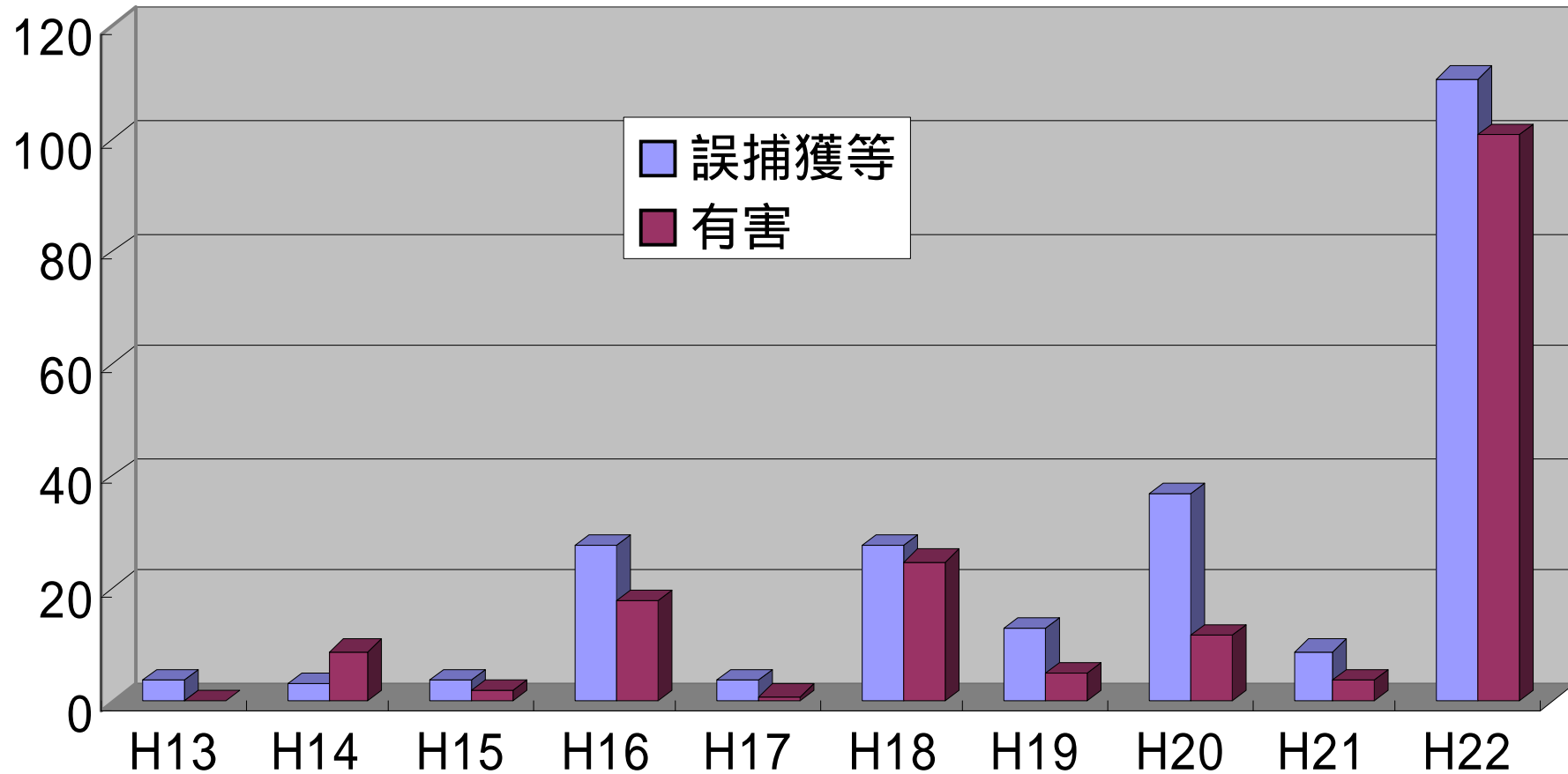


箱わなによるクマの誤捕獲防止



森林動物研究センター

ツキノワグマ 年度別捕獲数の推移



誤捕獲しない捕獲方法が、
シカ、イノシシを効率的に獲る捕獲方法につながる

クマ誤捕獲の弊害

- ・本来の捕獲が中断される
- ・ワナを破壊される
- ・捕獲者、地域住民等への危険性
- ・放獣作業のコスト



誤捕獲を防ぐ捕獲方法

クマが出てる場所、毎年出る場所に箱ワナを置かない

最初は扉が落ちない状態でしばらく餌付けする。獲りたい動物への餌付けが完了してから、扉のロックを解除する。 効率的捕獲の基本の励行

毎日の見回りと痕跡の確認

何が来ているのかを足跡で確認。足跡が見つからない場所では、砂などをまいて足跡を確認できるようにする。

痕跡の確認



クマの痕跡を見つけた場合の対処方法

即座に餌付けを中止し、中に残った餌を片付け、扉を閉める。可能であれば箱ワナを移動する。

その際、近くにクマが潜んでいることも考えられるので、十分注意する。

それでも箱ワナ周辺にクマの目撃や痕跡がなくならず、シカ、イノシシの被害も出ている場合は、葉菜類などクマを誘引しにくい餌に変えてみる。

もし誤捕獲してしまったら・・・

最寄の市町へできるだけ早い時間に連絡

脱出口の弊害について

クマが脱出できることを覚え、餌付け状態になる事がある。

脱出口に、クマが引っかかり、人が近づくと非常に危険。

開ける場所によりイノシシが逃げる場合もある。

脱出口以外の、誤捕獲防止対策を確実に行うことが重要。

